

# 季のうた

土肥 あき子

小満せうまんや伊予いよの青石水あをいしみづを欲ほり

張本はりもと 弘子ひろこ

二十四節氣の小満は、草木が生い茂り、あらゆる生きものが勢いを得て、万物が天地に満ちる時期とされる。「伊予の青石」とは、愛媛県を産地とする緑泥片岩。青石のなかでも特に珍重されてきた庭石である。水に濡（ぬ）れれば色彩は一段と深まり、変化に富んだ表情を見せる。満ち足りた大気の中では、石もまた自ら水を欲し、もっとも美しい姿を示そうとしているかのように思われる。